しらべてみよう

20年前ごろには、ひんぱんに起こっていた洪水、おじいさんやおばあさん、お父さんやお母さんの体験した話を聞いてまとめてみよう。

●昭和57年と昭和58年の洪水を体験した人の話●

当時は消防団の分団長として2度の洪水に出動しました。

昭和57年の洪水の時は、堤防に上がってみると地面がグラグラとゆれているのが分かりました。今にも堤防がくずれ、水があふれてきそうだったので、みんな必死に堤防を守りました。30キロ以上の重さがある土のう（土をつめたふくろ）を、大雨のなか積み上げていくのは、本当に大変な作業でした。

堤防がやぶれた地域では数百台の自動車が水につかっていました。また周辺の農家で飼われていた牛の大部分が、洪水によって死んでしまいました。あのひさんな光景は今でも忘れられません。

昭和58年には、地元の堤防がついに決壊し、またしても多くの家畜が洪水の犠牲になりました。わたしが築いてきた会社と工場も全て水びたしになりました。人命に関する被害はなかったことが幸いですが、多くのものをうばってしまう災害を、この時はとてもうらめしく思いました。

MEMO

しらべてみよう

川のそばではどんな地形や建物を見つけられるかな？
歩いて、調べて、地図をつくってまとめてみよう。

（例）
・りっぱな堤防や護岸が見られるのはどんな場所?

・河川敷が広くなったところは何に使われている?

・川が合流したり分かれたりするところではどんな施設が見られるか?

・砂防ダムがある場所の川のようすはどんな風になっている?

天気のいい日と雨が降った日との川のようすのちがいを見てみよう。

・川の流れの速さは？

・川の水面の高さは？

・水門の扉の位置は？